

記入例

別紙3～5のほか、案内図、施設位置図
および施設構造図、カタログなどを添付
してください。

第8号様式（第9条関係）

〇〇年△△月××日

除害施設新設(増設・改築)届出書

(宛先)座間市公営企業管理者

届出者

フリカナ

住 所(所在地) **座間市緑ヶ丘1-3-1**

フリカナ

氏 名(代表者) **株式会社 ザマモクセイ**

代表取締役 座間太郎

電 話 **046 (255) 1111**

除害施設を**新設**(増設・改築)したいので、次のとおり届け出ます。

設 置 場 所 及 び 使 用 者	座間市緑ヶ丘1-3-1 株式会社 ザマモクセイ 座間センター		電 話 番 号	046-255-1111
除害施設の施 工 者	座間市緑ヶ丘1-1-1 向日葵設備株式会社 代表取締役 座間花子		電 話 番 号	046-255-1100
排水設備の施 工 者	指定工事店番号 第〇×◇号 向日葵設備株式会社 代表取締役 座間花子		電 話 番 号	046-255-1100
工 事 期 間	着手予定	〇〇年△△月××日	完了予定	〇〇年△△月××日
資本金及び従 業 員 数	資本金 2000万円 社員 8名 パート 15名			
業種、製品名 及 び 生 産 量	弁当仕出屋及び弁当製造業 1日あたり約600食製造			
汚水を排出す る施設の種類	厨房および調理施設			
操 業 時 間	5時 00分から 19時 00分まで		休 業 日	日曜日
受 付 番 号	第	号	受付年月日	年 月 日

(注)排水設備の工事については、別途届け出ること。

汚水の処理方法

左欄：書くべき内容

右欄：解説

工場又は事業場における施設番号	No.1				除害施設について、 工場で使用されている番号・呼称等 ※他の添付資料と揃えてください				
処理施設の設置場所	店舗横(別添〇〇図のとおり)				事業場内の位置				
設置年月日					空欄				
工事着手予定年月日	〇〇年6月1日				工事開始の日 (届出の30日以上前が基本)				
工事完成予定年月日	〇〇年7月1日				完成予定の日				
使用開始予定年月日	〇〇年7月5日				使用開始予定の日				
種類及び形式	●●社製 AA-000-0000				カタログ等の記載を転記				
構造	ステンレス製				素材、構造など				
主要寸法	L W H 0000 × 0000 × 0000				汚水を処理する施設の設備のサイズ				
能力	300 m ³ /日				単位時間当たりの処理能力				
処理の方法	連続式(油水分離)				汚水の処理方式				
処理の系統	別添〇〇図のとおり				記載が難しければ資料に誘導でよい				
集水及び導水の方法	別添〇〇図のとおり				記載が難しければ資料に誘導でよい				
使用時間間隔	断続				稼働時間帯				
一日当りの使用時間	14 時間(AM5:00~PM7:00)				一日の合計稼働時間				
使用の季節的変動	なし				変動があれば記載 (6~8月に使用増 など)				
消耗資材の一日当りの用途別使用時間	なし				実際に消費する資材				
汚水の 水質及び 汚水量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	PH	8	7	9	8				
	BOD	200	100	300	200	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場から排出される可能性のある物質を記載します ・「処理後」の水質が基準内に収まっている必要があります 			
	n-ヘキサン	12	2	24	4				
	SS	150	15	200	20				
汚水量(m ³ /日)	14	14	17	17					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	油脂 60Kg/月 産業廃棄物として回収・処分				汚水処理により生じる残さの処分方法				
汚水の排除方法	生活排水と合流後公共汚水樹へ排出				「公共下水道へ排除」など				
その他参考となるべき事項	汚泥処理業者 座間花子商会(株)				産業廃棄物処理業者など				

備考 1 汚水の水質の欄には、当該特定事業場から排除される下水に係る水質基準が定められた事項について記載。

備考 2 汚水の排除方法の欄には、排出口の位置及び数ならびに排出先を含め記載すること。

下水の量及び水質

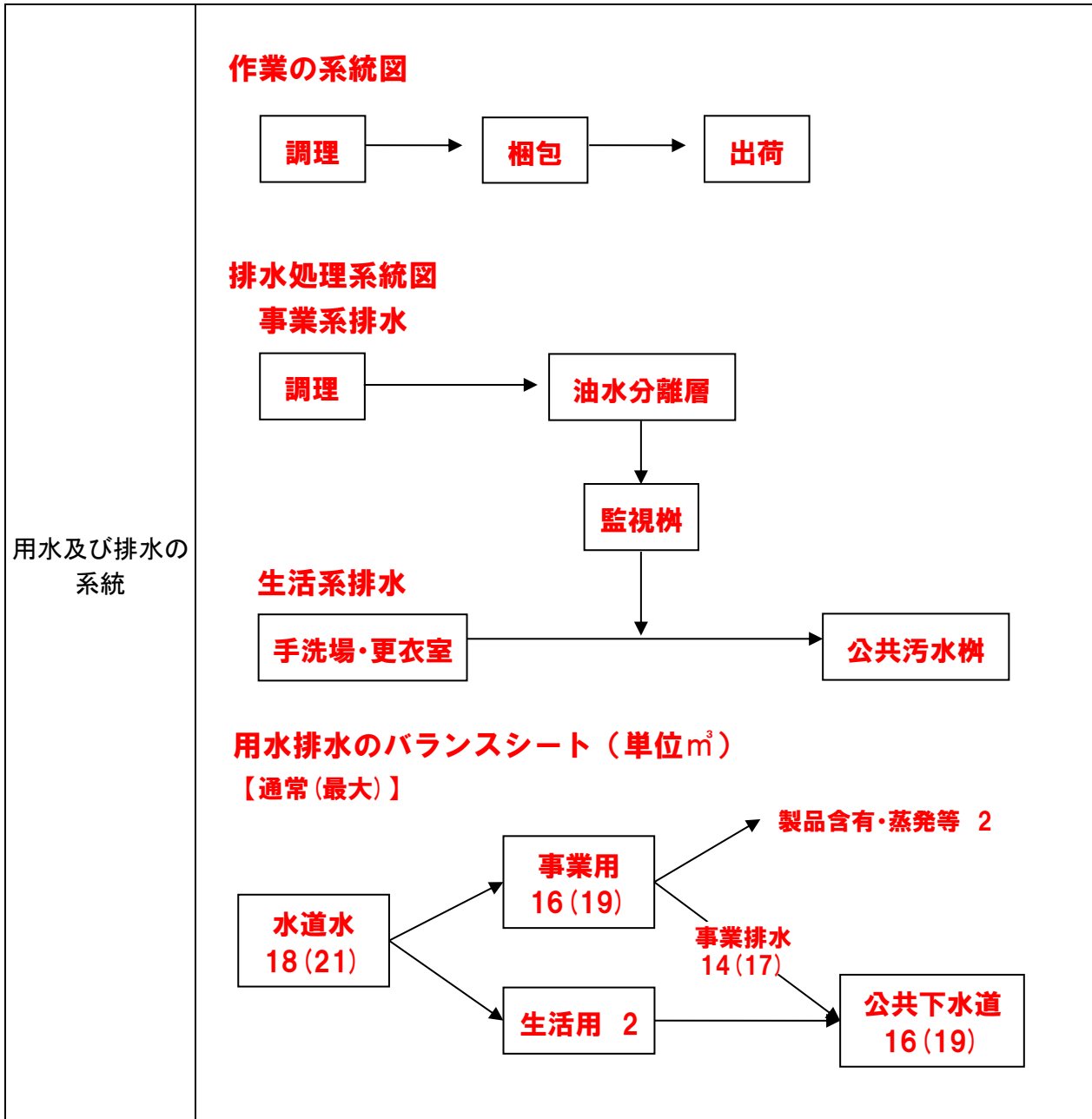
左欄：書くべき内容

右欄：解説

工場又は事業場における施設番号		公共污水樹			
	種類・項目	通常	最大	通常	最大
排出口における下水の水質	PH	7	8	<ul style="list-style-type: none"> ・処理後の水質を記載します ・別紙3「汚水の水質及び汚水量」の処理後と同じ数値になるように記載してください ※ただし、排出口にて生活排水と合流して水質が変わる場合は、<u>合流後の水質を記載</u> ・下水の量は、最終的に排出口に流れる量を記載します (生活排水と合流する場合、合流後の量を記載) 	
	BOD	100	200		
	n-ヘキサン(鉱油)	2	4		
	SS	15	20		
	下水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
		16	19		
その他参考となるべき事項					

備考 排出口における下水の水質の欄には、当該特定事業場から排除される下水に係る水質基準が定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



	用 途	使 用 水	用水使用量
用途別 用水使用量	事業用	水道水	16 (19)
	生活用	水道水	2
	・使用量、排水量は通常時および最大値の数値を記載してください ・枠内の記載が難しければ、資料に誘導で構いません		
	総合計		18 (21)

用排水のバランスシートは、添付 図のとおり